

公表:令和 3年 5月 6日

事業所名 多機能型事業所ぴ〜か〜ぶ〜

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	② 職員の配置数は適切であるか	○			以上の基準配置をしています。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			子供たちが目で見て分かりやすいようについ立てや、導線を工夫しています。	当事業所にはバリアフリーを必要としている児童はいませんが、一部バリアフリー化されていないので、今後検討しています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎日の清掃に加え、玩具や事業所内各居室の消毒・除菌を行っています。	継続して細目な消毒と除菌を行います。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			月に1度の職員会議にて行っています。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			自己評価の記入の協力をお願いしています。	保護者の方々の意見を真摯に受け、課題や改善点を検討しながら業務を行います。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページで公開しています。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		今後第三者評議委員会を設置検討しています。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修は年間で予定をしています。	コロナの影響で出来ないものはZOOM等の研修や日にちを分ける等して研修を行いました。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			面談を通じて保護者の方々の意向や思い・願いを聞き、児童発達支援計画に反映させます。	保護者の意向をふまえた上で児童発達支援計画作成会議を開き、ニーズや課題を新内容を検討します。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			適切なアセスメントツールを使用しています。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			保護者からの意向等を聞き取りし、その内容を考慮して作成しています。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				

⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			同じ活動にならない様に外部より体操教室、運動教室、ヨガ、音楽教室を取り入れています。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			集団活動と個別活動においてはクラス分けをして行っています。	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			パート職員も含めて毎日行っています。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日の良かった点や、改善する面を話し合い情報共有をしています。	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日欠かさず記録を行い振り返りや日々の支援に繋げています。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半期に1度モニタリングを行っています。	
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			定期的に相談事業所の職員と担当児童について話し合いを行っています。	
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			児童相談所や保健センター等と連携を行っています。	
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					該当なし
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					該当なし
㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				
㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			該当する児童が居た場合に就学に向けて学校と情報共有や引継ぎを行っています。	
㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			事業所として率先して連携強化を図っています。	例年は行っていましたが昨年はコロナ感染拡大防止の為、研修等が中止になることがありました。
㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			地域交流の一環として、ミニ四駆大会を行いました。	毎年行事予定で計画を立てていましたが、昨年はコロナ感染拡大防止の為、地域交流やイベントを中止にしました。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

	⑳ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			手稲区自立支援協議会(児童・就労部会)に参加しています。		
	㉑ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	○			事業所内相談を行ったり、電話や帰りの送迎時に子どもの様子を伝えることで共通理解を持つことが出来ました。	コロナの影響で定期的な話し合いが出来ませんが引き続き電話や帰りの送迎時で様子を伝えていきます。	
	㉒ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			○		保護者に対しての家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を組み立てて行く必要があります。	
保護者への説明責任等	㉓ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○					
	㉔ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				保護者と面談を行い支援計画を提示し説明を行っています。	
	㉕ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				事業所内相談を行ったり、電話や帰りの送迎時に子どもの様子を伝えることで共通理解を持つことが出来ました。迅速に対応しています。	
	㉖ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				○		予定していた保護者会開催がコロナの影響で出来なかったため、少人数グループでの開催を検討しています。
	㉗ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				相談があった場合、対応した内容について、保護者に話し、要望に沿った対応をしています。	
	㉘ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				紙面でのお便りやホームページで情報公開等して、保護者に発信しています。	
	㉙ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				書面の物は鍵付きの書庫へ、データの物はセキュリティがあるPCにて保管しています。	
	㉚ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○					
	㉛ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				コロナ渦前はミニ四駆大会を開催し地域住民の方々を招待して開催していました。	コロナ渦という問題と向き合い、この状況下でも何か出来ることがないかを模索します。
	非常時等の対応	㉜ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○				ファイリングして事業所内に掲示しています。
㉝ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○				毎月避難訓練を行っています。年二回、地域の避難場所へ避難する訓練を行っています。	
㉞ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか		○				書面に記載し職員が常に見れる様になっています。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			アレルギー対応マニュアルに沿って対応しています。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			市の研修や虐待防止の練習を行っています。	助けを求める・交代してもらう・落ち着く事を練習しながら実際の場でも躊躇なく助けを求める
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			利用契約書や重要事項説明書に記載かつ十分な説明をしています。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。